

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 2月 28日

公表:令和 年 月 日

事業所名 若葉放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		室内3つ、室外を状況に応じて利用している。	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		高齢者施設と併設の為、バリアフリー化されている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		振り返りを含めて、支援の向上に関して話し合いを実施している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		アンケート内容を集計し、より改善出来るように相談している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		公式HPに掲載中。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>		法人の第三者による外部評価を実施。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		希望する研修に積極的に参加をしている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		事前に現状・課題に関して聴取し、スモールステップで達成できる内容で作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		バランスの結果等、複数のツールを活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		月1回~プログラムについてミーティングを開催している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		1週間を帯として、レベルを変えながら実施。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		各児童に合わせた課題を設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		要望に合わせて個別療育(SST)を実施。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		ミーティングを実施。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		ミーティングを実施。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		毎日記録をとっており、翌日以降の支援に活かしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		半年に1回モニタリング、個別支援計画書を見直している。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		(12)同様。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	手紙や送迎時の対応時に細かな連絡調整を図っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	現在医療的ケア児は不在。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	自発を利用していた児童が不在。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	学校を卒業する児童が不在。今年度卒業する児童がいるため、必要に応じて情報を提供していく。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	研修のお知らせ等を受けている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	コロナ禍ということもあり自粛中。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	コロナ禍ということもあり自粛中。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	連絡帳や送迎時に細かな情報を共有している。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	必要に応じて、関わり方について助言を実施している。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	ご契約時に説明を実施している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	送迎時、電話、携帯アプリを通して、適時必要な助言を実施している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	コロナ禍ということもあり、感染対策を図りつつ、イベントの参加を促し、保護者様同士が会える環境を設定している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	現状苦情は無いが、必要に応じて迅速な対応を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	月1回広報を配布。また、連絡帳に写真を掲載することで日々の活動の様子を伝えている。	
	35	個人情報に十分注意している	○	法人規則に沿って個人情報の取り扱いには順守している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	感染対策を行いつつ、外部講師による活動を実施している。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	<input type="radio"/>		ご契約時に説明を実施している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		法人内年2回。今年度は放デイ独自で地震体験車及び煙体験を実施。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		年1回研修。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	<input type="radio"/>		ご契約時に説明を実施している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>		保護者様によるご報告に則ってアレルギー対応をしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>			